

ニュージーランド国 アッシュバートン（メスベン）との交流事業

昭和59年2月にニュージーランドのスキー関係者が石打丸山スキー場を訪れたのが始まりで、地元の石打区との盛んな交流が縁となり、「スキーは友情の架け橋」にと塩沢町合併30周年を記念して、昭和62年10月14日姉妹都市提携の調印の運びとなった。

現在は、平成3年から毎年、塩沢町の一大スポーツイベントでもある町内駅伝大会の優勝チーム等を「スポーツ・フェストNZ」へ参加派遣を行うなどスキーと共にスポーツを中心とした交流を深めている。

ニュージーランド国 アッシュバートン（メスベン）の概要

南半球屈指のスキー場のマウントハットスキー場は、メスベンがベースとなっている。5月下旬から11月下旬まで滑れるシーズンの長さ、頂上に立つとメスベン（人口1千人）、アッシュバートン（人口2万5千人）の町々が広がる眺望の良さはニュージーランド随一である。

1. 交流の歴史

昭和62年10月13日

アッシュバートン市長ら代表団が、塩沢町合併30周年記念式典に出席し、翌日調印式を行った。

平成2年8月25日～9月2日

ニュージーランド建国150周年を記念して、町民を中心にした150名からなる訪問団をメスベンへ派遣。

平成3年2月17日

アッシュバートン市長らが冬季魚沼国体開会式（塩沢中学校校庭）に列席。

平成3年10月6日

クライストチャーチにおいて開催された両国姉妹都市対抗駅伝に塩沢、石打より各1チームが参加。

（以後、毎年町内対抗駅伝の優秀チームを派遣している。）

平成4年9月1日

メスベンよりかいわれ大根の種栽培農家4名が研修に訪れる。

平成4年11月5日～8日

東京において開催されたアジア・太平洋地域姉妹都市交流会議に出席のため、アッシュバートン市長ギーリング夫妻が来日し、当町も訪問する。この間、新潟県庁に厚木副知事を表敬訪問や町内の小学校を訪問するなど精力的に交流活動を行った。

平成6年8月16日

塩沢町のジュニアスキークラブが、アッシュバートン（メスベン）で強化合宿を行った。

平成6年8月16日

北京において開催された第4回世界女性会議の出席に先立ち、アシュバートン地区選出のシップリー厚生大臣兼婦人問題担当大臣及びマーティン・ヴィヴァーズ駐日大使他一行6名が表敬訪問に来町。メスベンの小学校からの絵画や手紙の贈呈を受けたり、交流について意見交換等を行った。

平成7年10月12日～17日

上田町長初就任を記念し、姉妹都市対抗駅伝チーム一行と共に、「スポーツフェストNZ」に参加。アシュバートン地区庁舎へ表敬訪問を行い、ギーリング前市長やアンダーソン新市長他幹部職員に面会、今後の交流活動等について会談した。面会の席には8月来町されたシップリー大臣夫妻も同席し、日本との合弁会社の視察や記念植樹等を行った。

平成7年12月8日

アシュバートンより群馬県内の高校に交換留学生として来日中のMiss. ロビンとホームステイ先の村田氏が表敬訪問に来町。

平成8年3月

第3回新潟国際ジュニアビエンナーレに、アシュバートン地区内の小中学校より絵画と版画81点の応募があり、銀賞2点を含む5点の入賞を果たした。ニュージーランドより唯一の出展であった。

平成9年7月29日～31日

ニュージーランド先住民族のマオリ舞踊団「テ・コウハイ」一行が、今泉博物館で開催の「南太平洋アート展覧会」のPRに来町。舞踊公演や彫刻、料理教室などを開催。31日には公演で共演した塩沢巻機太鼓、塩沢町郷土芸能保存会の町民らと「さよならパーティー」で交流を深めた。

平成9年10月18日～23日

塩沢町合併40周年記念式典に招待したアシュバートン・アンダーソン市長夫妻ら一行が来町。陶芸の「南山焼き」を体験したり、「塩沢ニュージーランド友好協会」の発会式に参席。

40周年記念に、韓国やオーストリアの訪問団と共に塩沢町の木「こぶし」の記念植樹を行い、「国際交流の集い」で多くの町民との友好を深めた。

平成10年3月9日

公賓として来日されたシップリー首相並びに夫君を歓迎した橋本内閣総理大臣主催による歓迎晩餐会に、関係者の一人として上田町長が招待を受けた。

平成10年3月

第4回新潟国際ジュニアビエンナーレにアシュバートン地区内の小中学校より絵画と版画82点の作品が応募。銀賞1点を含む6点の入賞を果たした。

平成10年5月13日

シップリー首相就任を記念して、塩沢ニュージーランド友好協会の主催により友好親善訪問が行われた。上田町長は団長として参加し、両国の友好親善及び姉妹都市との交流の一翼を担った。

平成10年10月20日

昨年、町内一周駅伝大会で悲願の優勝を成し遂げた、大沢チーム一行は、「スポーツ・フェストNZ'98」に派遣参加し、平成3年の初参加以来、8回目にして見事、国際大会の舞台で優勝を勝ち取る。

平成11年5月12日

アシュバートン・アンダーソン市長が来町し、教育や観光産業における今後の交流について、意見交換を行なう。

平成11年10月3～4日

アシュバートン・マウントハットカレッジ・カンナム副校長が来町し、町教育関係者と意見交換を行なう。

平成11年11月2～7日

平成11年度北米・オセアニア自治体幹部職員招へい事業でアシュバートン行政担当課長・イングラム氏が来町し、地方自治制度について県庁・町役場で研修を行なう。

平成12年7月29日～8月8日

塩沢ニュージーランド友好協会が企画した、「第1回夏休み中学生姉妹都市交流」に町長を団長に総勢20名（中学生16名）が訪問し交流を深めた。また、中学生はマウントハット・カレッジで、体験学習を受けてきた。

平成14年11月8日～13日

第12回の姉妹都市訪問に14名を派遣し、姉妹都市盟約15周年の記念イベントとして、マラソン・インデアカ・グランドゴルフといったスポーツ交流や記念植樹を行なった。
(本年はスポーツフェストへは不参加)

平成15年11月7日～12日

第13回の姉妹都市訪問に10名を派遣し、マラソン・詩吟会と

いったスポーツ交流や文化交流を行なった。

(本年もスポーツフェストへは不参加)

平成23年3月

カンタベリー地震の義援金を送った。(募金の最中に東日本大震災があったため、市費を足して10万円ほど)

平成26年4月25～27日

アシュバートンからの訪問団が表敬訪問し、ホームステイや市民と交流を行なった。

2. 印象に残るエピソード

平成2年にニュージーランド建国150年を記念して、小さな町レベルで総勢150名からなる町民を中心にした訪問団を派遣したことは、今でも町民の誇りとなっている。この訪問を機に交流が活発になり、平成3年よりニュージーランドで開催される国際大会(スポーツ・フェストNZ)に、毎年、町内一周駅伝大会で選抜された選手を派遣し、平成10年の大会では見事、優勝を成し遂げている。

シップリー首相が、厚生大臣兼婦人問題担当大臣の折、塩沢町を訪れたり、ニュージーランド訪問に際し、首相官邸へ招かれたり、また、来日時には橋本総理大臣の主催による歓迎会に、関係者の一人として町長が特別に招待を受けるなど日本を代表する交流活動を展開しているということで、町民のなかに「世界を視る目(意識)」が芽生えつつある。

平成11年には住民と一体となった地域レベルでの国際化推進への取組が認められ、「世界に開かれたまち(地方公共団体部門)自治大臣表彰」を受賞した。これは町民の国際交流への理解を深め、活動の励みへとつながっている。